

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 会談録（日・琉球 首脳、政府高官）Ⅷ

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-21 キーワード (Ja): 椎名, 三木, 外務大臣, 太田, 松岡, 屋良, 主席, 堀総務副長官, ランパート高等弁務官, 屋良主席, 愛知外務大臣に対する要請書 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43191

39.11.11

小笠原協会創立50周年
同胞接護会吉田事務局長

枝村事務首

秘

この文の対心アメリ局長 参事官 北米課長

1488 (19) 沖縄問題会談録(別移L巻2, P.4以下欠落)

小笠原協会創立等に關し、同胞接護会 吉田事務局長 未談の件

39.11.11 土、北、

11月11日 同胞接護会 吉田事務局長の未談要旨次の通り (上村綱生、松村幹雄)

1. かねて計畫中の小笠原協会は漸く関係者の話しあひがまとまり、来月財団法人の認可を特運局に申請する段取りになった。会長には 福田篤泰氏が就任する予定、協会発足の上で、小笠原基盤、帰島促進の事業に着手する積りである。

2. マケ正岡が近く来日する、例の小笠原 600万ドル見舞金問題の謝礼がまだにならなくて、^{所、要録命令に、政府保留の分、}と見え、^{謝礼約半}2,000万円支払う予定 (相与約の約 1/2 による)

3. 南方同胞接護会の本年度予算ル米口出張旅費 3%分がついていて、大浜接護会長あたりを団長とする 小笠原問題、^(米紙会に於て)沖縄補償問題に關する陳情団を派遣したいと思うか、本計畫に對する外務省の感触如何、又時敷とにはいつ頃かよりに思うか、と聞かれています、^{私見であるが}松村氏、小笠原問題のりては、

~~日本対陳情団を派遣するに~~

まかすは、沖縄の補償問題

~~沖縄の補償問題は日本の民間団体による~~

ついで、同胞援護会が人を派遣

~~いかにも~~

するとは ~~筋~~ 筋遣いの感あり、一考を

要するではないかと思われと述べ

~~たに、吉田氏も~~

尤もな意見である、更に考

究すると述べた。また、~~十~~十

に閣内陳情に付ても、今更には、米側の

態度が変ったという見通しもない。陳情

しても、何らの効果があることが柳れられ

た。時期は一考を要するのではないかと

述べた。本年産予算であること、~~福田~~福田

氏が、本年1、2月頃丁度訪米の計画

あること等の関係もあり、再考して見ると

述べた。 ~~上~~上の方でも、上司の意向を

上記は、これと和見であるが、~~務省~~務省

例を知用するに、早急な対応が必要である